

幹部、社員が経営参画する会社とは？ ～倒産から学んだ大切なこと～

11月例会開催を終えて

11月16日（金）に開催された11月例会は、広報委員会が担当し、講師に株式会社ミクセル代表取締役の島幸司氏をお招きして「幹部、社員に光をあてる全員経営」というテーマでご講演いただきました。学ぶことの大切さや、社員全員が経営に参画することの意義、経営者と幹部、社員さんとの関係性の質の重要性について、幹部や社員さんへの動機づけにつながったのではないのでしょうか。



島講師をお招きしようと思ったのは、昨年、30TTを受講中に角谷次期会長から「来年、委員長としてやってくれないか」と声を掛けられ、それを受けた瞬間に例会の講師を誰にするかと考えたとき、すぐにお顔が浮かび上がりました。当時、TT研修受講を通して、私自身が幹部としての立場で役割、責任ということに対して、自覚や社員さんとの関係性に悩みを抱えていました。また、TT研修で多くの経営者が集まる中、幹部、社員さんによるトラブルや集団離職



の発生など、社風によって引き起こされた人に関する問題が多数発生したことを目の当たりにしてきました。さらに、研究会の中でも幹部となる右腕がない、育っていないなどの課題を聞いていたことで、会社は経営者一人だけで良くなるのではなく、幹部が社長の良きサポーターとなり、部下を育成するコーチであり、会社を率いるリーダーであり、経営者と現場の橋渡し役として、コミュニケーションをスムーズにして社風を良くすること、部下を育成して業績を上げることが幹部の役割なのだという痛感したからです。その役割を全うするには経営者の真意や意図を汲み、状況を正しく判断し、自分で考え、自分の言葉で説得力をもって伝えることが幹部としてのやりがいを感じることであり、その在り方を学ぶことを通して自覚することを目的として

例会を開催することしました。

島講師は、30TTの担当ファシリテーターであり、身近で過去の経験のお話を聞いた中で学ばせていただいたことから、その人柄、考え方に大きな影響を受けました。島講師は前の会社で経営幹部という立場で「倒産から学んだ大切なこと」のサブタイトルにもあるように、会社の倒産という体験を経て、現在経営者としてご活躍されています。その時に感じた経営者の問題点や嫌だったことを現在の経営に活かされています。そのお話を皆さんに聞いていただくこと



で、経営者としての在り方、またそれを通すことで幹部としての在り方や心構えに改めて気づくことができました。

講演から学んだこと

島講師が講演で語っていただいた倒産の原因に、「働く目的」「人間関係による組織力」「理念経営による人材育成」なによりも「社長が傲慢になり勉強しなかった」ことが挙げられていました。また、前職時代に嫌だったことに、「経営に参画できない」「責任はあっても権限がない」「学ぶ環境がない」「助け合い、認め合う社風がない」など信頼関係が崩れた状況を体験した中から、創業にあたって学ぶ環境をつくり、自ら考える幹部、社員さんを育成しよう！と決意されました。社長と幹部、社員さんとの関係の質が高まることで、思考の質が高まり、それによって行動の質が高まり、結果の質が高まることで好循環のループを築くことができるのです。

幹部の仕事とは、情報共有の場づくり、学ぶ環境づくりを通して健全な社風づくり【間接の努力】と結果を作り出す場【直接の努力】によって社長の念いや理念の伝道師となり、また、現実と理想のギャップを埋め、問題を解決することです。そのためにも幹部が学ばなければ組織は成長できないのです。だからこそ幹部の美学とは「経営理念に、そして人に尽くす崇高な生き様」であり、「城(ビジョン・経営理念)を支える誇り高き石垣」となることが幹部の使命であり、やりがいなのです。

株式会社ミクセルの社風は、“大家族主義”社員さんとその家族が

大きな家族のように繋がり、強い連帯感と信頼関係を持って助け合っています。“前向きに学ぶ”研究支援を通して社会を幸福にするという理念に共感した仲間が、切磋琢磨しあいながら共に学ぶ社風です。私たちもこのような社風から学び、研究会の皆さまの会社により良くなるために学び続けていきましょう。



11月例会では何かと至らぬ点多々あったと思います。島講師をはじめ、石川経営研究会の理事、会員、委員会メンバーの皆様の多大なるご支援を賜り、無事に終えることができましたこと、ここに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

(広報委員会委員長 由田 豊尚)

新入会員紹介



有限会社マックユニオンの専務をしております、村田敦子です。石川経営研究会には、今年2月入会いたしました。

毎回、皆さまの行動力や的確なアドバイスなど、たくさん学ばさ

せていただいております。ありがとうございます。

弊社は、住宅建築の設計・施工を行っております。創業18年とまだまだ若い会社ではございますが、スタッフ一同、日々、変化する基準や商品の勉強を怠らず、日本の伝統建築と海外のメンテナンス性の良さを融合したオリジナル造作商品など、オーダーメイドで世界に一つしかない住宅造りを行っています。

経営理念“愛を満たせる家造り、人づくり”を御旗に掲げ、建物を造る・再生・修繕を通し、お客様の財産に更なる価値を見出し、愛をカタチにし、より心豊かに暮らしていただけるように。また継承していただける建物造りをすることで、地域の活性・石川県の活性に繋がるよう、これからも貢献してまいります。

野々市市に小さいですが展示場もございます。近くにお越しの際は、お気軽にお立ちよりいただけますと幸いです。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

(広報委員会 村田 敦子)

編集後記

一年間にわたり、各委員会の例会や全国大会、経営発表大会をもとに会報誌を発刊させていただきました。記事の執筆や写真の提供にご協力いただきました各委員会の委員長、会員の皆さま、誠にありがとうございました。また、編集に校正にあたっては、広報委員会の皆さまのご協力のもと目標の回数以上に発刊できたこと感謝申し上げます。

(広報委員会委員長 由田 豊尚)